

市田南小学校



(令和8年5月1日現在)

所在地	〒558-0011 住吉区市田10-1-35		
電話	06-6607-0511	FAX	06-6607-3314
URL	https://swa.city-osaka.ed.jp/e731671		
校長名	井村 章子		
児童数	248名	教職員数	27名
学級数	15学級（うち特別支援学級4）	集団登下校	なし
標準服	紺上着・ズボン・スカート		

学校概要

市田南小学校は、大阪市の南端に位置し、学校のすぐ近くには大和川が流れています。ここは、300年前、大和川の付け替え工事の際、依羅池という大きな池があり、地形を利用して川が作られたため、大きく蛇行して流れている場所でもあります。残った依羅池は次第に埋め立てられていき、今ではその面影を留めていません。しかし、校区には大依羅神社という大変古い歴史を持つ神社があり、祭礼が執り行われます。

生駒、二上、葛城、金剛の山並みを近くに感じながら、子どもたちは広々とした運動場を駆け回って遊んでいます。中庭には広い芝生広場があり、たくさんの実がなるみかんの木やレモンの木が植えられています。鳥や蝶が多く集まり、自然豊かで、のびのびと学ぶことのできる恵まれた学習環境があります。

教育目標

自他を大切にし、意欲的に学校生活を過ごすことのできる子どもを育成する

校長メッセージ

本校では、子どもたち、そして教職員や保護者・地域の皆様、すべての人が安心して過ごし、笑顔でいられる学校づくりを大切にしています。

子どもたちが「学校が楽しい」「自分は大丈夫」と感じられるように、わかる喜びやできるうれしさ、人とのつながりを大切にした学びを進めてまいります。

また、教職員同士が支え合いながら、子ども一人一人に丁寧に向き合う環境づくりにも努めてまいります。

保護者や地域の皆様とは、子どもたちの成長をともに見守り、育てていく大切なパートナーとして、信頼関係を大切にしていきたいと考えております。

日々の学校生活の中で、小さな安心や小さな成長を積み重ねながら、子どもたちが自分らしく輝く学校を目指してまいります。温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



本校のマスコットキャラクター「南ちゃん」

案内図



学校協議会会長メッセージ

市田南小学校学校協議会は、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映し、よりよい学校教育が推進できるようにサポートしています。

学校と地域と保護者が一体となって、市田南小学校がより一層発展し、子どもたちが安心してすくすく成長できるようにがんばっていきます。みなさんのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

▶▶ 運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

①小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思えますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.6%以上にする。【令和7年度 平均90.5%、4年92.7%、5年87.9%、6年94.8%】

②年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。【令和7年度 3.91%】

③小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.7%以上にする。【令和7年度 平均86.6%、4年87.8%、5年87.8%、6年84.2%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

①小学校学力経年調査における、国語・算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

【R6→R7 4年：国+0.04P 算+0.29P、5年：国+0.11P 算+0.11P、6年：国+0.04P 算+0.06P】

	現4年生		現5年生		現6年生	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
R6			1.02	0.98	0.91	0.92
R7	1.08	1.15	1.06	1.27	1.02	1.03

②小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

③小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

①小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度利用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を55%以上にする。

【平均53.4%（4年43.9%、5年24.2%、6年92.1%）】

②「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下とする。

【令和8年3月時点 本校平均時間（累計）30時間21分】

※同月時点の校種別の平均時間（累計）は22時間02分

③小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

【平均69.4%（4年80.5%、5年69.7%、6年57.9%）】

1. 基本理念

本校はすべての子どもと教職員の「心身の健康」「安心」「自己実現」を大切にし、互いの違いを尊重しながら共に成長する学校を目指す。一人一人が「自分らしくいられる場所」であることを、学校の最も重要な価値とする。

2. 子どものウェルビーイングの実現

- 安心して学ぶ学級づくり
- 自己決定・自己調整を重視した学びの推進
- 成果だけでなく過程を認める評価の充実
- 「わかる・できる・つながる」授業改善の継続
- いじめ・不登校の未然防止と早期対応

3. 教職員のウェルビーイングの向上

- 業務の精選と働き方改革
- 対話を重視した職員室文化の醸成
- 一人で抱え込まないチーム支援体制
- 成長実感を得られる校内研修の充実
- 教職員同士の承認・感謝の可視化

めざす学校像

通いたい！通わせたい！働きたい！
みんなが幸せ！ウェルビーイングな学校！

4. 保護者・地域との信頼関係の構築

- 学校の教育方針の積極的な発信
- 保護者の声を生かす双方向の関係づくり
- 地域資源を活用した学びの充実
- 「ともに育てる」意識の共有

5. 組織としてのウェルビーイング経営

- ビジョンの共有と見える化
- 小さな成功の積み重ねと称賛
- データで対話に基づく学校改善
- 柔軟でしなやかな組織運営

6. 校長としてのリーダーシップ

- 「聴く力」を基盤とした対話型リーダーシップ
- 教職員の強みを引き出すマネジメント
- 判断の軸を「子どもの最善」に置く
- 安心と挑戦のバランスをとる学校づくり

本校は「誰一人取り残さない」教育の実現に向け、
すべての人のウェルビーイングを高める学校として、日々の実践を積み重ねていく。

学校行事

4月	入学式 始業式 1年生を迎える会 学習参観・懇談会 避難訓練	10月	運動会 遠足 就学時健康診断
5月	家庭訪問 遠足 新体力テスト 地域別子ども会 トップアスリート・夢授業（サッカー）	11月	6年修学旅行（広島） 避難訓練 オリエンテーリング
6月	5年野外活動（海洋センター） 学習参観 プール開き	12月	なわとび週間 個人懇談会 終業式
7月	市南フェスタ 個人懇談会 終業式	1月	始業式 かけ足タイム 避難訓練 入学説明会 6年卒業遠足 市南ハッピーデー
8月	始業式 ふれあい清掃	2月	学習参観・懇談会 作品展
9月	学習参観 懇談会 学校公開 学校説明会	3月	卒業おめでとう集会 地域別子ども会 卒業式 修了式

▶▶ 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状（調査対象：令和7年度の小学6年生）

【平均正答率（%）】

国語	算数	理科
56	51	46

【国語】話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに成果が見られた。ペアトークやグループトークを、自分の書いたことを発表し合う段階から、深め合う段階へと低学年の時より発達段階に応じて継続的に行ってきた成果である。

【算数】小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることに成果が見られた。知識・技能の習得に向けて、学びサポーターの活用や放課後学習など、習熟の遅い児童に対して丁寧に指導を行ってきた成果である。

【理科】氷が溶けてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解することに成果が見られた。

▶▶ 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（調査対象：令和7年度の小学5年生）

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	13.25	18.25	30.58	42.08	42.27	8.97	142.92	19.25	52.50
女子	15.00	16.71	44.50	37.43	28.57	9.42	131.14	10.08	51.40

今年度の結果として、体力合計点で女子は大阪市、全国平均ともに少し届かなかったが、男子は全国平均にはあと少し届かなかったものの、大阪市平均を上回った。また運動に対する意欲では、質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答割合を見ると、女子は好意的回答が8割以上と高く、男子は大阪市、全国平均以上の高数値だった。1週間の総運動時間を調べると、男子は60分未満の児童が1人もおらず、平均時間も、大阪市、全国平均を300分ほど上回っている。

【P75に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】